



平成28年度～30年度の京田辺市統計書



**統計データの適切な運用は
アンケートを計画策定利用**

秋月 健輔 議員
(南風・維新)

改選後初の一般質問

スマートフォンでも視聴できます。

11議員が市政を問う

質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

録画配信でチェック!

市議会ホームページから、録画をご覧ください。
京田辺市議会 インターネット中継 で検索



近年統計データの取り扱いの重要性が高まり、人工知能の基礎技術にもなっており、統計学・確率が様々な意思決定に用いられる時代になったが、本市ではその基礎となる統計データの取り扱いについて、適切な運用するための仕組みをどのように整備しているのか。

統計分野の重要性が増しており、性質上業務委託をすることは難しいため、本市の業務において統計関連部署の拡充が必要となる時代になってきているが、市の考えは、

総務部長 統計業務は法律上定められたものなので国からの受託事務として適切に処理しており、外部委託等はない。それ以外の範囲では例えばアンケート調査とし

て、各部署の計画の策定に利用している。

小学校でプログラミング教育の必修化が始まるが、地域に委ねる方式になっている。実のある教育にするために、本市ではどのような実践的教育を実施しようとしているのか。

教育部長 物作りができる有効な教え手の確保も含め、担当教員だけでなく、非常勤で一定の部分を担当していたり、等々検討していかねばならないと考えている。

基本情報処理技術者の国家試験合格を中学校卒業までの目標としてはどうか。

教育指導監 今回の考えとしては、社会情勢によっても必要になるかもしれないと考えている。



路側帯を歩く親子 (田辺)

防災・減災、強靱化対策は 関係団体等連携のもと推進

橋本 善之 議員
(自民・新会)

全国で頻発する自然災害の教訓を踏まえ、本市における具体的な防災・減災を始めとした強靱化対策を問う。

市長 本市においては比較的大きな災害はなかった。しかし、このことによって見過ごされている部分があるかもしれない。脆弱な部分も勘案し、市内外の関係機関・団体と連携を図って、強靱化に向けた取り組みを進める。

自然災害や交通弱者対策などは、縦割り行政を排除して庁内横連携のもと議論が重要。一方で市民参画を促して市民と職員の連携が重要。

総務部長 経営会議や総務調整会議など部局横断的な検討調整を行っている。事案に応じてワーキンググループ

などを設置し取り組んでいる。

市民部長 職員も含め市民や市民団体が活発に活動できる環境整備を推進する。

市長の施政方針の中に「市民参画の推進」とも「市民協働を進化させる」とある。職員の中には日ごろから自己研さんに努め非常にスキルの高い職員が多にいる。市民参画には積極的にそのような職員に参画してもらいたい。

市長 市民参画推進のために、市民が自分のこととして地域の課題を取り上げることが重要。職員にとっても市民からの提案や気づきを我々として組織的にどう対応するかが重要。自己研さんを積んで一生懸命頑張っている職員とともに進めていきたい。



自販機の売り上げで維持管理を行う防犯カメラ(奈良県王寺町)

共助を引き出す公助を 答 危機管理体制の改善を図る

菊川 和滋 議員
(NEXT京田辺)

27自治会が防犯カメラ設置を望んでいる。共助を必要とする昨今、市民の声を反映する公助が何より重要である。その後の検討状況は。

危機管理監 令和元年度の9駅全てにカメラ設置が完了する。今後の設置場所や自治会への補助は引き続き検討する。

自主防災会未設置自治会への対応と防災士の活用は、

危機管理監 引き続き対応していく。各自主防災会に一人以上の取得者を自指し支援。

避難所における備蓄品と食料備蓄の現状について。

危機管理監 毛布・簡易トイレ・発電機及びガソリンを備蓄し、食料は保存食と飲料水を一括保管している。

豪雨災害等を踏まえた避難スイッチの周知方法は、

危機管理監 配信システムの更なる充実を図るとともに各訓練への参加を促す。

非常時、職員の呼び出し体制は、また危機管理部の体制強化が必要である。

市長 原則自主参集となっており、元年度職員参集訓練を予定。過去災害の教訓を生かし体制等の改善を行いたい。

学校体育館への空調導入と中央体育館の空調導入は、

危機管理監 事業全般を勘案し総合的に判断していく。

教育部長 中央体育館は、天井の高さや構造上の課題、維持管理費の問題もある。

4月の選挙を踏まえ投票率向上策を検討しては、

選挙管理委員会事務局長 投票率低下は重要な課題。投票率の見直しは考えていない。

議会日誌

5月	6月	7月	8月
23 日	24 日	24 日	1 日
13 日	28 日	1 日	8 日
16 日	4 日	2 日	15 日
21 日	11 日	5 日	22 日
28 日	18 日	12 日	29 日
31 日	25 日	19 日	9 日
6 日	2 日	16 日	16 日
13 日	9 日	23 日	23 日
20 日	16 日	30 日	30 日
27 日	23 日		

会派代表者会議
幹事会(20日、23日)
第1回臨時会(役員選出、議案上程採決)
議会運営委員会(30日)
新任期議員研修会
山城地区議長連絡協議会定例会
京都府市議会議長会総会

議会運営委員会・幹事会(20日)
第2回定例会(施政方針・議案上程)
全国市議会議長会定期総会
第2回定例会(代表質問)
第2回定例会(一般質問)(25日、27日)

建設経済常任委員会・協議会
総務常任委員会・協議会
文教福祉常任委員会・協議会
議会運営委員会(9日)

幹事会
第2回定例会(議案採決・閉会)
広報編集特別委員会
文教福祉常任委員会協議会
熊本県山鹿市議会視察来庁
神奈川県海老名市議会視察来庁

広報編集特別委員会(5日、16日、30日)
公明党会派研修(8日)
自民党会派研修(21日)
NEXT京田辺会派研修(22日)
議会運営委員会(23日)
京都府市町村議会広報研修会(29日)

(以上主なもの)